

2038

CDショップの視聴ディスプレイ

Listening-and-Viewing Experience Display Unit for CD Shops

AD47 山崎 遼
指導教員 小西 均

1. 研究目的

店内の音楽視聴ディスプレイは各CDの詳細を伝える役割を持っている。特に音楽が自身のライフスタイルの中心にあり、音楽家の人生観まで知りたいと思う人々が視聴する場合、その役割はより確実なものでなければならない。

しかし今その役割が曖昧になっている実情がある。視聴ディスプレイの必要性を理解し、人々を惹きつけて興味を持たせ、楽曲を手にとってもらうための必要な機能を備えた物を提示する。

2. 調査と分析

音楽化（グループ）紹介のポスター、CDを乗せる棚、各CD解説、試聴のためのオーディオ装置、およびヘッドホンが挙げられた。CDショップにて既存の視聴ディスプレイを使用して感じたことは組み立てるのが面倒であること、人々の注意を引き付ける効果の曖昧なものが在る事だ。

さらにショップにて音楽CDを視聴する機会の多い人々に意見を聞いたところ「視聴した人間がCDの感想を記せるようなスペースを設けておくと他の客がCDを購入する際の手助けになるのではないか」という声が返ってきた。以上の事から音楽家とその作品であるCDの詳細を効果的に伝えられ、その場で短時間で組み立てられるものが必要であると判断した。

3. コンセプトの立案

「簡単に組み立てられる事で収納もできる手軽なCD視聴ディスプレイ」

・デザイン条件

使用する素材は軽く、安全で持ち運び可能のもの。

人々が視聴しやすいことを目的としたサイズの適合。

4. デザイン展開

音楽家および各CDの詳細を効果的に伝える事を目的として、本体の高さを1700mmに設定した。三本のアルミ材を軸としてパーティション型のものを作ることを考えた。

しかし組み立ての容易さ、収納のしやすさを考慮するとアルミ材のような重い素材では組み立て

の段階で苦勞する光景が見られるだろう。そこで紙材を使用し、折り紙の構造を利用する事で組み立ての容易さと収納のしやすさに貢献できるものを制作した。

5. 完成図



6. 結論

組み立てには時間がかからず簡単に構成することができた。畳むと正方形にまとめられる事から収納に困惑しないと感じたが、音楽家および各CDの詳細を効果的に、鮮明に伝えるために工夫が必要ではないか、さらにCDを手取る際に手を滑らせる可能性も否めないという意見を得られた。

今回は収納のしやすさ、組み立ての容易さを前面に出した目標が十分に達成できたと判断できる。

7. 参考文献

折り紙建築型紙集 - 茶谷正洋 彰国社